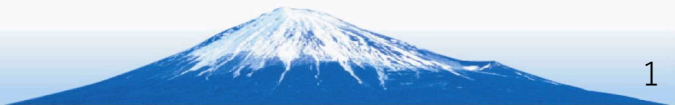


# 第3回協議会の振り返り

令和5年8月25日

静岡県地域公共交通活性化協議会事務局



- 1 第3回協議会の振り返り**
- 2 第4回協議会までの実施事項**

# 1 第3回協議会の振り返り

## (1) 開催概要

日時 令和5年3月14日（金） 13:30～15:10

場所 県庁西館4階第一会議室（オンライン併用）

出席者 全委員70名中 出席委員68名  
（うちオンライン参加49名）

- 議題
- ・ 第2回協議会の振り返り
  - ・ 県民アンケート分析結果
  - ・ 県地域公共交通計画  
骨子（案）
  - ・ 災害対応について
  - ・ 令和5年度事業計画（案）  
及び予算（案）



# 1 第3回協議会の振り返り

## (2) 議事概要

No.	項目	内容
1	第2回協議会の振り返り	第2回協議会の概要、主な意見、第3回協議会までの実施事項、地域分科会での意見
2	県民アンケート分析結果	アンケートの概要、複数の回答を組み合わせた分析結果、自由意見の分析（テキストマイニング）
3	県地域公共交通計画骨子（案）	骨子とは、骨子の全体像、各項目の内容、今後精査する項目など
4	災害対応	被災後における公共交通サービスの変化、民間車両借り上げ計画など
5	令和5年度事業計画（案）及び予算（案）	県地域公共交通計画の策定に必要な調査等の実施計画及び予算に係る審議

# 1 第3回協議会の振り返り

## (3) 県地域公共交通計画骨子（案）

<p>はじめに 策定の目的、計画区域、計画期間</p>	<p>1 地域の現状等 地勢・地理、県の社会状況、経済状況</p>	<p>2 上位・関連計画の整理 国の法令・計画、県の上位計画、県の関連計画</p>		
<p>3 地域旅客運送サービスの現状 公共交通利用者数 交通事業者の収支 公共交通の担い手 県民の公共交通への意識</p>	<p>4 地域旅客運送サービスの役割と課題整理 県内各地を結ぶ公共交通ネットワークの維持 公共交通の安全・安心の確保 地域のニーズ、利用者のニーズに応じた移動手段の用意 県民と交流客双方の視点での公共交通の利便性向上 公共交通の存在を地域資源として位置付け、県民の利活用を促進 このほか 県内4地域が現在直面する各課題</p>		<p>5 将来、目指す姿</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">             “ふじのくに”デジタル田園都市の実現         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">             持続可能な社会を支える公共交通         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             誰もが移動に困らない質の高いサービスの提供         </div>	<p>6 基本的な方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">             地域の足を支える公共交通の確保         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             乗りやすい、乗ってみたい公共交通サービスの提供         </div>
<p>7 計画の目標</p> <p>1 好きな時好きな場所へ</p> <p>2 安全・安心・快適</p> <p>3 最適な移動手段</p> <p>4 交流の利便性向上</p> <p>5 地域の誇り（シビックプライド）</p> <p>県内4地域</p>	<p>8 目標達成のための施策</p> <p>(1) 公共交通ネットワークの維持確保 ・運転者等公共交通を支える人材確保 ・広域幹線交通の維持確保 ・地域内交通を支える市町支援 など</p> <p>(2) 公共交通の利活用促進 ・モビリティマネジメントの推進 ・観光交流客の周遊促進 ・公共交通の役割・魅力の発信 など</p> <p>(3) 公共交通サービスの効率化・高度化 ・DXの導入促進 ・駅・停留所から自宅・目的地に向けた移動手段の確保の支援 ・交通結節点における円滑な接続 など</p>		<p>9 計画達成状況の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通利用者数</li> <li>・幹線バスの利用者1人当たり行政負担額 など</li> <li>・県民の公共交通の満足度</li> <li>・路線バスの遅延時間・遅延頻度 など</li> <li>・標準的なバス情報（GTFS）の公開率 など</li> </ul>	<p>10 新たな技術の導入・社会情勢の変化への対応</p> <p>あらゆる輸送資源の総動員 自動運転技術の実用化 DXによるMaaSの深化 上下分離の導入 交通税の導入 欧州など海外事例の導入</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※8、9及び10の項目については、業務委託受託者の知見を取り込みつつ今後精査していく</p> </div>

# 1 第3回協議会の振り返り

## (4) 主な意見等 (1/4)

項目	主な意見等
県民アンケート 分析結果	色々な形でクロスして分析をしているが、公共交通のことがよく分からないから使えていないという回答が多いと思う。
	到着時刻の遅延、行き先、決済方法など、これらがどういう仕組みになっているのか分からないから不安になっている。
	利便性向上には、現状やっていることを分かってもらうことによって、実は拡充・改善しなくても、十分に利用できるケースもある。
計画 （案） 骨子	地域のウェルビーイングなり、まちづくりが計画の大きな目標であるが、中身を見ると運輸事業をどうするかの範囲にとどまっているのではないか。
	公共交通を整理してサービスの向上を図るのは何のためか、ウェルビーイング指標を含めて整理し、計画に記載しておくこと。

# 1 第3回協議会の振り返り

## (4) 主な意見等 (2/4)

項目	主な意見等
計画 骨子 (案)	サービスの効率化・高度化では、効率化だけでなく効率化と高度化の双方が重要であることを、誤解を与えぬように表現すること。
	鉄道も地域にとって大切なサービス。鉄道の視点が少ないので、施策の辺りで、鉄道サービスの活用などを整理しておく必要がある。
	市町や交通事業者が施策を実行しやすい計画であるべき。県が指針を示している事によって動きやすいという面もある。役割分担や市町・事業者の取り組みに対して県はこういう立ち位置でこういうことをやっていくということを分かりやすく表現できれば良い。立てた計画が実行に移されていくという流れが重要。

# 1 第3回協議会の振り返り

## (4) 主な意見等 (3/4)

項目	主な意見等
計画 骨子 (案)	「渋滞の解消」は、県の交通計画において重要な課題のはずである。道路政策を含め、交通のまちづくりとしての位置付けを、この県計画の中でも言っていく、まちづくりと繋げることによって初めて地域の機運が高まるという視点がもうちょっと必要。
	道路も重要だが公共交通の改善がないと社会全体のウェルビーイングを悪化させてしまう、そんなロジックがあることも広く県民にメッセージをすることが必要。
	渋滞の解消は、知恵を出す事によって、インフラを変えなくても、お金をかけなくても、やり方と仕組みづくりでできるものもある。



# 1 第3回協議会の振り返り

## (4) 主な意見等 (4/4)

項目	主な意見等
計画 （案） 骨子	新たな技術の導入・社会情勢の変化への対応は、ただ単語が羅列してあるだけでは意味がない。上下分離や交通税の議論をするにしても、公共交通の位置付けがしっかりしていないと、導入できるのか、何が適しているのかの議論に繋がっていかない。
災害 対応	<p>災害があった時に道路と公共交通の役割分担がある。道路は被災時にまず道路啓開をして物資を届ける。一方、公共交通は、車を無くしたりして公共交通でしか移動手段がない人々を運んでいる。</p> <p>どういった役割分担があるのか議論をしておけば、災害時交通マネジメント検討会なども有効に発揮できる。</p> <p>貸切バス、場所によってはタクシーの活用など、災害時における公共交通の総動員の仕組みを構築しておく必要があるため、公共交通の考え方を計画で触れておく必要があると思う。</p>

## 2 第4回協議会までの実施事項

### (1) 地域分科会の開催

伊豆地域分科会	令和5年8月4日（金）14:00～16:00
東部地域分科会	令和5年7月31日（月）14:00～16:00
中部地域分科会	令和5年8月2日（水）14:00～16:00
西部地域分科会	令和5年8月1日（火）14:00～16:00

#### 議題

- ・ 第3回協議会の振り返り
- ・ 県地域公共交通計画（素案）
- ・ 県生活交通確保対策協議会の再編の概要



伊豆地域分科会（8/4）